web 教室◆日能研からのお知らせ 3月号 5年生 国語

そろそろ5年生の学習にも慣れてきたでしょうか。日能研のカリキュラムでは、同じ単元をくり返し 学習していきますので、すべてを理解できなくても気にすることはありません。自分のペースで学習を 進めていきましょう。

第 23 回~第 25 回では、第 23 回・第 24 回で「具体例に着目して文章全体のつながりをとらえる」 という説明文の学習、第 25 回では心情の変化に着目しながら物語文についての学習を行います。

また、「読む」「書く」ツールでは、語句単元として「二文を一文にまとめる」「条件・帰結の関係」「受け身と受給表現」を学習し、文の作りの基本知識を身につけます。

宿題用教材の「栄冠への道」は、必ず授業動画を視聴した後で取り組んで下さい。「栄冠への道」は 授業の内容を忘れないうちに取り組むようにしましょう。

◆第23回 説明文 具体例/二文を一文にまとめる

説明文の読解方法として、「具体例」に着目して取り組みます。「具体例」とは、「話題をわかりやすく説明するために用いる例」のことで、話題と合わせて文章の内容を整理することがポイントです。

また、「読む」「書く」ツールでは「二文を一文にまとめる」ことを学習することで、指示語・接続語などに着目し、文と文のつながりを意識できるようになることが目標です。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章 1・・・課題

「読む」「書く」ツール・・・1~3

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の2 (文章題)・・・1~3

「読む」「書く」ツール・・・ 1 ~3

③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第二十三回

④「本科教室」この問題にチャレンジ。

文章 1・・・オプション 探求

文章2 $| \cdot \cdot \cdot 1 \sim 3$ ※動画内で解説しています。

◆第24回 説明文 具体例と中心的内容/条件・帰結の関係

前回学習した「具体例」の知識を使って、「文章の中心的内容」となる話題や結論を読み取っていくことが目標です。

また、「読む」「書く」ツールでは「条件・帰結の関係」を学習します。条件となる文と帰結(結果) となる文のつながりを考えて、適切なつなぎ方をつかむことが目標です。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章 1 ・・・課題

「読む」「書く」ツール・・・ 1~4

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。学び直し①の② (文章題)・・・1~4

「読む」「書く」ツール・・・ 1~5

- ③「計算と漢字」必ず解いてみよう。 第二十四回
- ④「本科テキスト」この問題にチャレンジ。

文章 1・・・オプション 探求

文章2・・・ $1\sim3$ ※動画内で解説しています。

◆第25回 物語 変化する心情①/受け身と受給表現

今回から、物語の学習になります。物語では「登場人物(主人公)」「場面」をつかみ、どのような出来事が描かれているのかに注目して読み進めていくことがポイントです。5年生の学習では、「出来事」と「人物の様子や行動」を手がかりにして「心情の変化」をとらえていくことが目標です。

今回は、「出来事」や「人物の様子や行動」をもとに、それぞれの出来事の中での「心情」をとらえることに取り組んでいきます。まずは心情のとらえ方の基本形を身につけていきましょう。

また、「読む」「書く」ツールでは「受け身と受給表現」を学習します。受け身は「れる・られる」を使って動作を受けることを、受給表現は「動作をしてもらう側」か「動作をしてあげる側」かに注目して表します。「誰が」「何をした(された)」に注目して文の形を考えていくことが目標です。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章1・・・課題 $1\sim2$ 「読む」「書く」ツール・・・1~4

- ②「栄冠への道」必ず解いてみよう。学び直し①の② (文章題)・・・1~4「読む」「書く」ツール・・・1~5
- ③「計算と漢字」必ず解いてみよう。第二十五回
- ④「本科テキスト」この問題にチャレンジ。

文章1・・・オプション 探求

文章2・・・ $1\sim5$ ※動画内で解説しています。

web 教室◆日能研からのお知らせ 3月号 5年生 算数標準

2月から新5年生の学習がスタートしました。5年生になると、学ぶことが多くなってきますので、しっかりと取り組むようにしましょう。第23回~第25回では、分数計算のしくみについて学習していきます。操作のしくみの「ルール」をしっかりとおさえながら、取り組んでください。 各回の学習の目安は以下の通りです。

◆第23回 数と計算 ~分数とたし算・ひき算~

分母が異なる分数は、通分することによってたし算・ひき算ができますね。この一手間をかけることによって、今までの計算のしくみと同じになります。また、答えるときには、「既約分数で答える」という原則がありましたね。実は、通分することで「最小公倍数」、約分することで「最大公約数」を発見することがはやくなってきます。また、小数と分数を行き来することも学びました。数の世界はどんどん広がってきますね。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

- ① 「本科教室」ここだけは押さえておこう。
 - 学び①②③ 知識技術 1~6
- ②「栄冠への道」必ず解いてみよう。
 - 学び直し①・・・1~6
- ③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ
 - 本科教室・・・思考技法 1, 2
 - 栄冠への道·・・学び直し③ 1, 2

ひとりで問題と向きあうための準備1~6

◆第24回 数と計算 ~分数とかけ算~

整数の世界で「かけ算」を学んだときは、「すぐにわかったよ」と感じた人も多かったはず。しかし、小数・分数の世界になると、一気に難しくなりますね。しっかりと理解を深めながら取り組みましょう。ただし、分数のかけ算のしくみはかんたんでしたね。「分母は分母でかけ合せ、分子は分子でかけ合せる」ことで計算はできます。ただ、注意する点としては、計算の途中で約分することでした。常に、約分できないかどうかを確認しながら進めていきましょう。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう。
 - 学び①②③ 知識技術1~4
- ②「栄冠への道」必ず解いてみよう。
 - 学び直し①・・・1~4
- ③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法1, 3

栄冠への道・・・学び直し
31, 2

ひとりで問題と向きあうための準備1~5

◆第25回 数と計算 ~分数とわり算~

第 24 回で分数のかけ算を学んだので、分数のわり算は、それほど苦労することなく取り組めたのではないでしょうか。「÷ある数」=「×ある数の逆数」であることを理解しましょう。注意しないといけないのは、上の関係が成り立つのは、÷の直後の数1つに限定されることです。また、仕事算も扱いました。「1 あたりの量」という発想はとても大切になりますので、がんばって取り組みましょう。まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう。
 - 学び①②③ 知識技術 1 ~ 5
- ②「栄冠への道」必ず解いてみよう。
 - 学び直し①・・・1~5
- ③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ
 - 本科教室・・・思考技法 1, 5
 - 栄冠への道·・・学び直し③ 1, 2

ひとりで問題と向きあうための準備1~5

web 教室◆日能研からのお知らせ 3月号 5年生 算数発展

発展講座で扱う問題は応用力を必要としますので、問題によっては難しいと思いますが、動画を見ながらしっかりと学習していきましょう。

◆第23回 数と計算 ~分数とたし算・ひき算~

分数の大小をくらべるには、「通分」が有効な手段となります。また、分母が異なる分数のたし算・ ひき算では、必ず「通分」が必要になってきます。その際にそろえる分母ですが、「最小公倍数」であ ることを意識しましょう。異分母の分数のたし算・ひき算を練習することによって、最小公倍数もすば やく見つけられるようになります。また、「小数→分数」「分数→小数」の変換ができるようになると、 数をより多面的にみることができるようになります。

◆第24回 数と計算 ~分数とかけ算~

分数のかけ算のしくみ自体は、容易に理解できると思います。ただ、計算の過程で約分する習慣をつけていくことが必要です。そのためにも、「この数を素因数分解したらどうなるだろう?」と数に慣れ親しむことが大切です。また、「もとになる量の何倍か」を意識していくことによって、「割合」の概念にもつながっていきます。

◆第25回 数と計算 ~分数とわり算~

分数のわり算を学習することによって、小学校で習う計算技法はすべて学習したことになります。あ とは、これらを応用するだけです。テキストにもありますが、「わり算はなぜ逆数をかければよいか」 を深く考えることによって、さらに数への興味がわいてきますよ。また、算数でよく使う「1あたりの 量」の理解を進めていくためにも、今回はとても大切な単元となります。

web 教室◆日能研からのお知らせ 3月号 5年生 理科

一日一日と春に近づいているのを感じますね。春が近づき、身の周りの昆虫や植物の様子も変わっていきます。ぜひ、立ち止まって観察してみましょう。3月の理科では「植物の体の働き」「節足動物」「せきつい動物」「水中の生物と食物連鎖」について学習します。

◆第14回 足に節がある仲間たち

節足動物の体のつくりや育ち方の変化に目を向け、同じ所やちがう所をもとにして、分類していく方 法を学びましょう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう
 - ・節足動物の体のつくりのちがいを理解しよう。
 - ・昆虫について、体のつくり・成長の仕方・冬ごしなど、同じ所やちがう所に目をつけて分類してみよう。
- ②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう
 - ・「本科教室」…オプション探求
 - 「栄冠への道」…学び直し①、学び直し③
- ③「栄冠への道」この問題にチャレンジ:学び直し②

◆第15回 背骨がある仲間たち

背骨を持つ動物の体のつくりや生活の仕方に目を向け、同じ所やちがう所をもとにして、分類していく方法を学びましょう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう
 - ・せきつい動物の体のつくりのちがいを理解し、分類してみよう。
 - ・特に、メダカの体のつくり・育ち方・飼うときの注意点など理由と共に理解しよう。
- ②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう
 - ・「本科教室」…オプション探求
 - ・「栄冠への道」…学び直し①、学び直し③
- ② 「栄冠への道」この問題にチャレンジ:学び直し②

◆第16回 水中の生物とそのつながり

水中にくらすプランクトンという生き物について、どのような働きをしているのか、観察方法と共に 学びましょう。また、食物連鎖によって生物がつながっていることを理解しよう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう

- ・水中にくらすプランクトンの種類や働きをもとに、分類してみましょう。
- ・けんび鏡を用いた小さな生物の観察方法を学びましょう。
- ・生き物の食べる・食べられるという関係(食物連鎖)について、学びましょう。
- ②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう
 - ・「本科教室」…オプション探求
 - ・「栄冠への道」…学び直し①、学び直し③
- ③「栄冠への道」この問題にチャレンジ:学び直し②

web 教室◆日能研からのお知らせ 3月号 5年生 社会

◆第14回 特色ある気候と人々のくらし

- 1 気温が高くなる理由や雨が降る理由について学習します。緯度の高低や標高の高低、季節風の風 向きなどによって、どのように変化するのかを確認してください。
- 2 日本各地の気候の特色について学習します。テキストにのっている各都市の「雨温図」から、その地域の特色を読み取りましょう。入試には必出の単元です。
- 3 気候が引き起こす災害について学習します。最近日本でも毎年のように大きな災害が起きています。地域ごとに起こりやすい災害を確認し、その対策もあわせて覚えていきましょう。

【これもおさえておこう!】

マオプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)

◆第15回 移り変わる日本の人口

- 1 明治時代以降、日本の人口は増加します。これは医療や公衆衛生が発達したからです。北里柴三郎や野口英世といったこの時代に活躍した医学者の伝記などを読んでみても良いでしょう。
- [2] 日本の総人口は、戦争の時期をのぞき、増加していきました。いまの日本の人口は減少傾向にあること、外国人労働者が増えていることなど、「社会探検」を読むなどして、理解してください。
- ③ 過密と過疎について学習します。とくに過疎になるとどういったことに困るのか、「コラム」を 参照して、確認しましょう。
- 4 人口ピラミッドについて学習します。日本は少子高齢化が進んでいることを理解しましょう。な ぜ少子高齢化が進んでいるのか。この理由について考えてみましょう。
- [5] 働く人の移り変わりを学習します。時間があれば「やってみよう!」をしてください。 産業別就業人口の中心がどう変化してきたかを理解しましょう。

【これもおさえておこう!】

マオプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)

◆第16回 日本の地方と都道府県

- [1]では、「畿内と七道」、旧国名について学習します。旧国名は今の地形名に多く使われています。いままでに見聞きした地形名と同じ旧国名があるか、テキストの地図で確認してみましょう。
- ②では、47 都道府県と8地方について学習します。まずはしっかりと覚えていくことが大事です。時間があれば「やってみよう!」をしてください。またP93の「社会探検」には「都道府県のシン

ポル」がまとめられています。是非参照しましょう。

3では、都道府県庁所在地と政令指定都市について学習します。しっかりと覚えることが大事です。

【これもおさえておこう!】

マオプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)

写白地図作業ノート P4・5 (都道府県)、

P 6 ・ 7 (都道府県の形)